

コーワ SL-19 plus

コーワ SL-19 専用アプリ



 エクスポート機能

 Mac computer の準備編

macOS Ventura 13 operating system software 用

本書は、コーワ SL-19 専用アプリ(以下、本アプリ)のエクスポート機能を使用するために、出力先 Mac computer(以下、出力先端末)にて、実施していただきたい事項・手順を記載しています。手順にしたがい下表に必要事項を記入しながら設定作業を実施してください。

本アプリのエクスポート機能は、SMB プロトコル上でのファイル共有を行います。

出力先端末のオペレーティングシステム(以下、OS)として macOS Ventura 13 operating system software を想定し記載しています。

他の OS での手順については、本書を参考に設定を実施してください。

免責事項

本書に記載の手順によるデータの破損などの損害については、当社は責任を持ちません。

本書の記載内容は、奥付に記載の日付時点の情報に基づきます。

推奨する動作環境、機能など、予告なく変更されることがあります。本書の記載内容と異なる場合がありますので、ご了承ください。

下表は本書にて確認/ 設定した内容のメモ用としてご使用ください。ここにメモした内容を用いて、本アプリのエクスポート機能の設定を行います。

No.	項目	確認/設定した内容	手順番号
1	共有名		STEP4-⑩/STEP6-⑩
2	ユーザー名		STEP3-③/STEP5-⑤
3	パスワード		STEP3-③/STEP5-⑤
4	コンピューター名		STEP4-④/STEP6-④
5	SSID(無線 LAN)		ルーターの取扱説明書をご参照ください。
6	接続パスワード(無線 LAN)		

無線 LAN で接続される場合は、ご使用になられる無線 LAN ルーターの取扱説明書などをお読みいただき、無線 LAN ルーターの「SSID」と「接続パスワード」をご確認ください。

本アプリで使用可能な文字種は下表になります。無線 LAN ルーターの「SSID」と「接続パスワード」に下表以外の文字種が含まれている場合は、無線 LAN ルーターの設定を変更してください。既に無線 LAN ルーターと接続している外部機器がある場合は、その機器も再設定してください。

	使用可能な文字種	範囲
SSID	半角の英数字スペースおよび記号(右表)	1 ~ 32 文字
接続パスワード	※大文字小文字を区別します	8 ~ 63 文字

!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	:
;	<	=	>	?	@	[\]	^	_	`	{ }	~			

※「\」は環境によっては「¥」と表示されます

STEP 1 共有フォルダに使用するユーザーアカウントのパターン確認

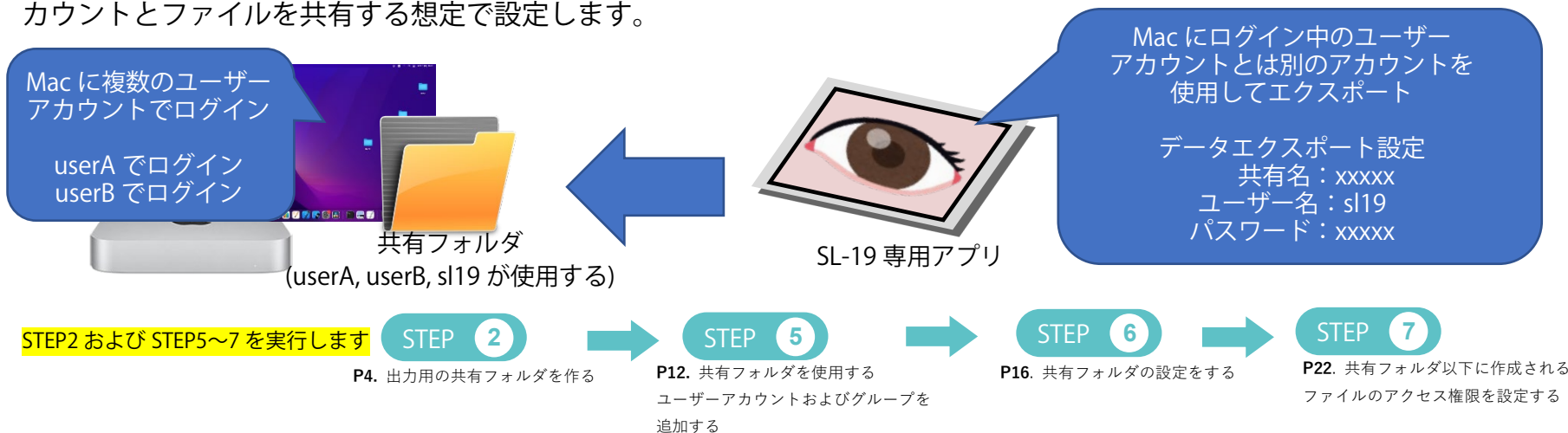
共有フォルダを使用するユーザーアカウントのパターンによって設定手順が異なります。
以下 パターン A、パターン B より選択し、**指示された STEP を実行**してください。

パターン A 共有フォルダを Mac にログイン中のユーザーアカウントのみが使用する場合

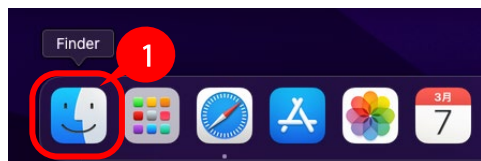


パターン B 共有フォルダを複数のユーザーアカウントが使用する場合

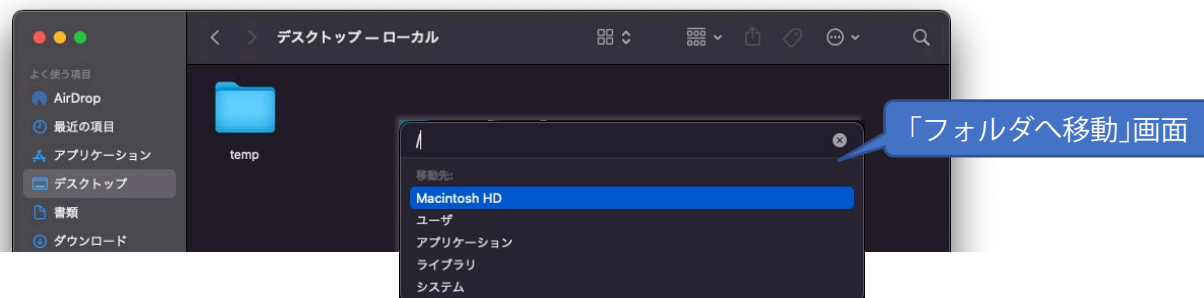
本書では、SL-19 専用アプリからのエクスポート用に共有専用のユーザーアカウントを作成し、Mac にログイン中のユーザーアカウントとファイルを共有する想定で設定します。



STEP 2 出力用の共有フォルダを作る



①Finder アプリを開きます。

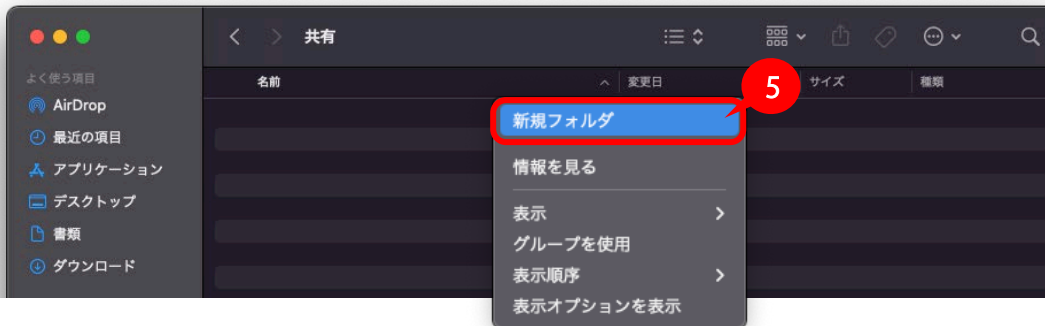


②Finder アプリを選択した状態で「shift + command + G」キーを押し、「フォルダへ移動」画面を開きます。

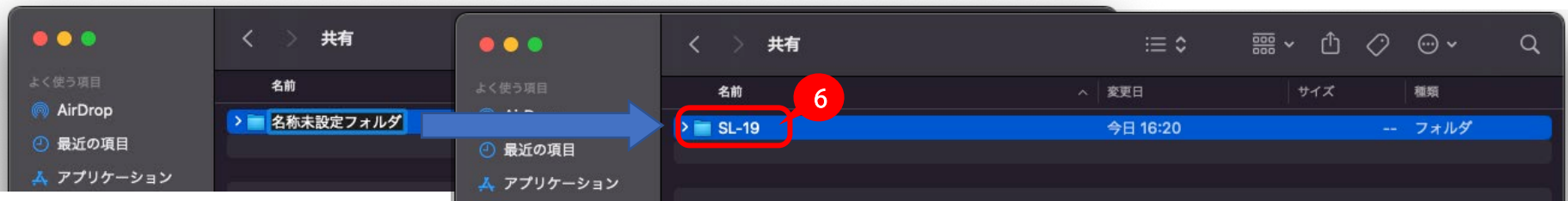


③検索ボックスに「/Users/Shared」と入力します。

④移動先に「ユーザ>共有」が表示されるのでダブルクリックし、共有フォルダの作成場所に移動します。



⑤右クリックにて新規フォルダを選択し、新規フォルダを作成します。



⑥フォルダ名を入力します。(例：SL-19)

以上で STEP 2 の作業は終了です。下記ガイドに従い続きの作業を実施してください。

パターン A 共有フォルダを Mac にログイン中のユーザーアカウントのみが使用する場合

続けて STEP 3 → STEP 4 を実行してください。

P6. Mac にログイン中の
ユーザーアカウント名を確認する

P7. 共有フォルダの設定をする

パターン B 共有フォルダを複数のユーザーアカウントが使用する場合

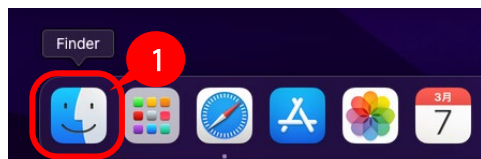
STEP 3,STEP 4 は飛ばして STEP 5 → STEP 6 → STEP 7 を実行してください。

P12. 共有フォルダを使用する
ユーザーアカウントおよびグループを
追加する

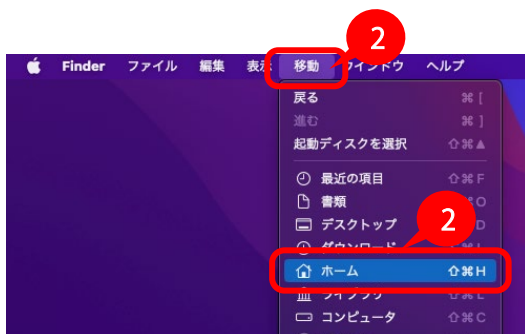
P16. 共有フォルダの設定をする

P22. 共有フォルダ以下に作成される
ファイルのアクセス権限を設定する

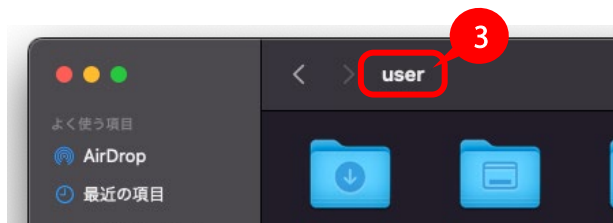
STEP 3 Mac にログイン中のユーザーアカウント名を確認する



①Finder アプリを開きます。



②メニューから「移動」→「ホーム」を選択します。



③ユーザーアカウント名が Finder ウィンドウの上部に表示されます。
確認したユーザーアカウント名を本書 P.2 の表【ユーザー名】欄に記入してください。
ログインに使用したパスワードを本書 P.2 の表【パスワード】欄に記入してください。

STEP 4 共有フォルダの設定をする




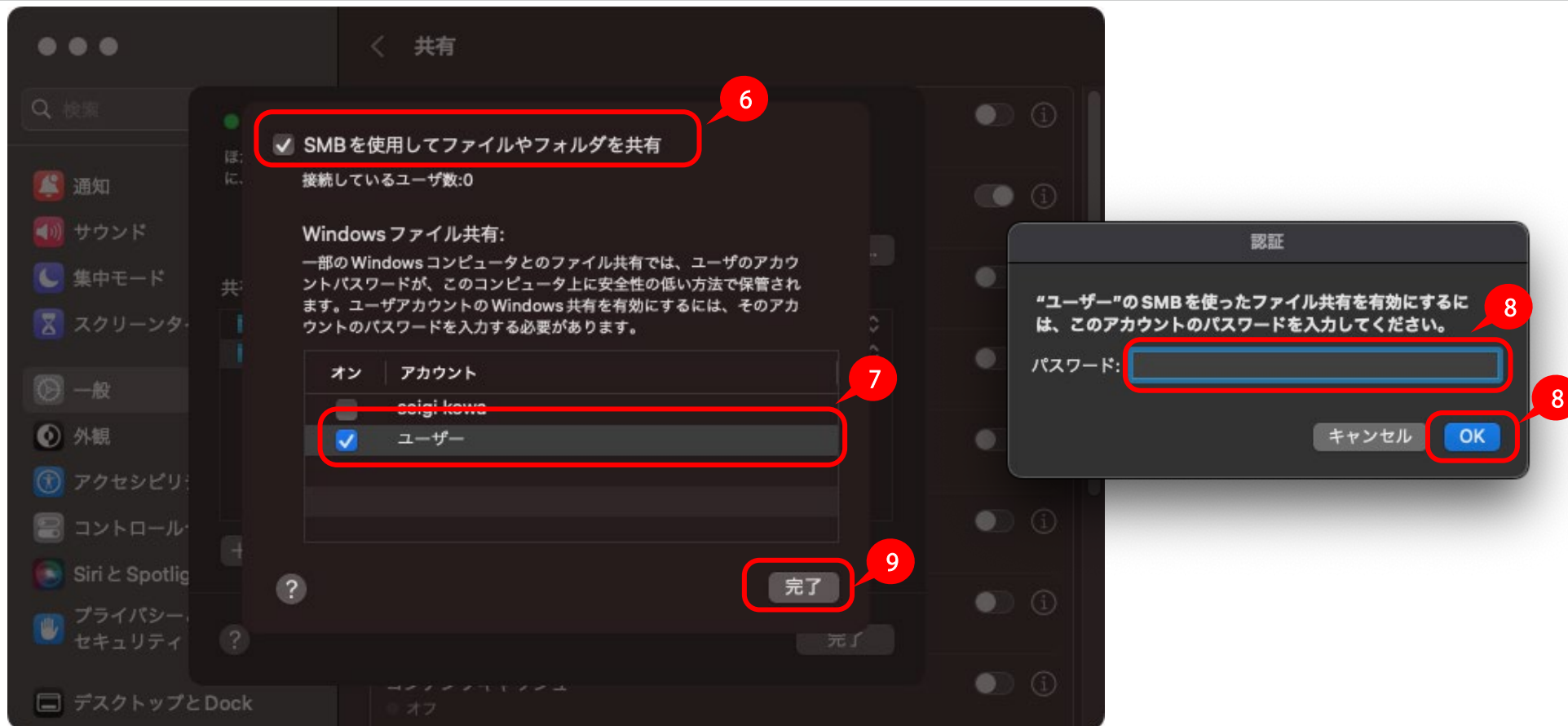
① アップルメニューから「システム設定」を選択します。



② 「一般」をクリックし、一覧から「共有」をクリックします。



- ③ 「ファイル共有」をオン にします。右隣の情報ボタン  をクリックします。
- ④ ファイル共有：オン の下に表示されている “smb://〇〇〇〇〇〇”から“smb://”を除いた文字列を本書 P.2 の表【コンピューター名】欄に記入してください。
- ⑤ 「オプション」をクリックします。

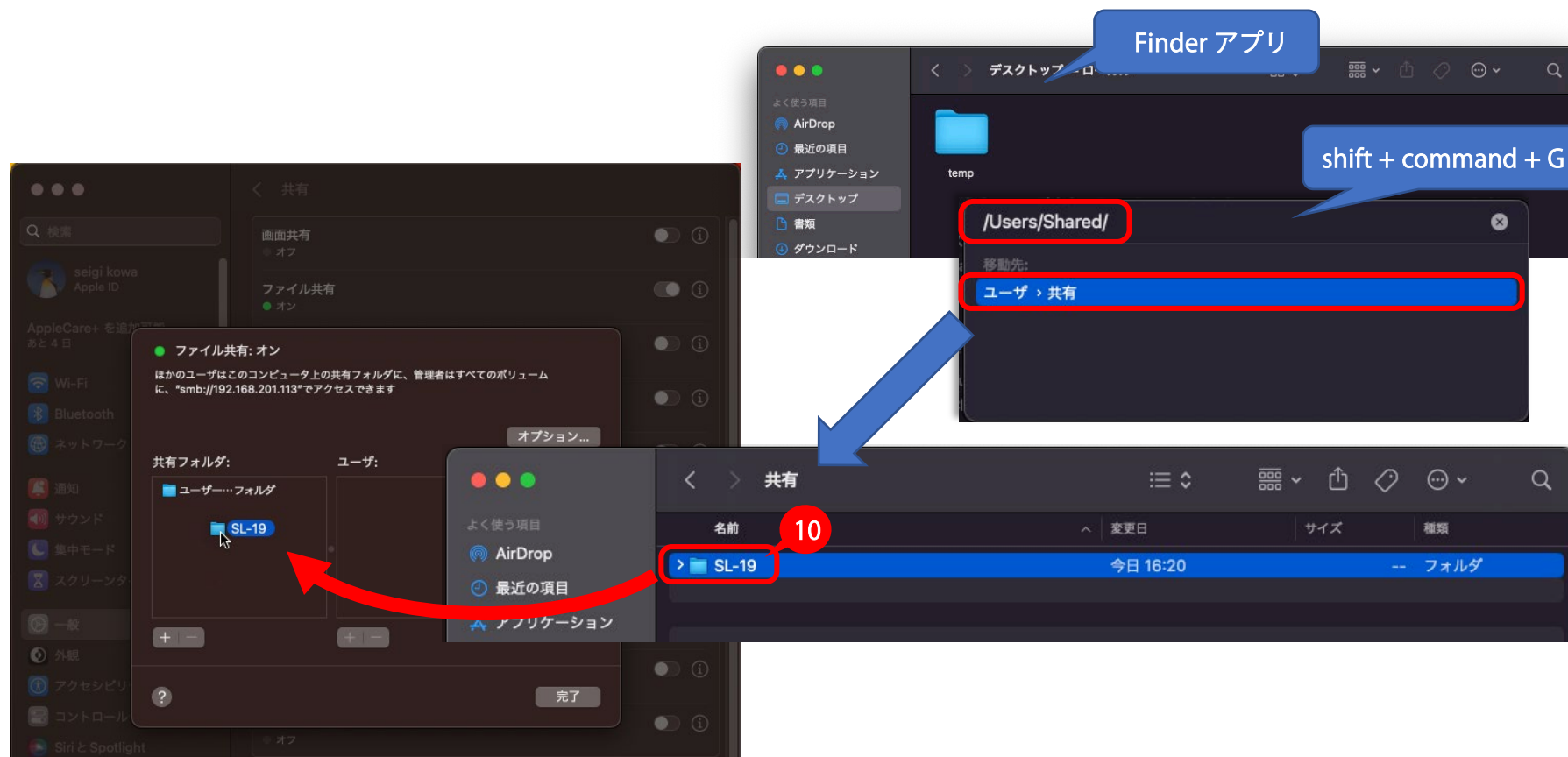


⑥ 「SMB を使用してファイルやフォルダを共有」にチェックを付けます。

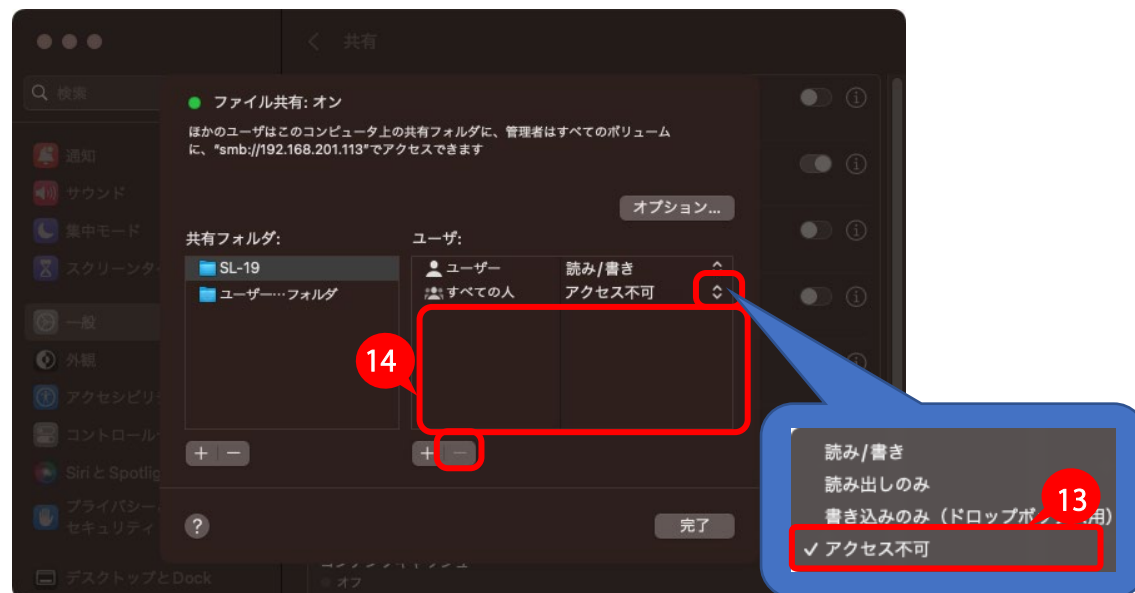
⑦「Windows ファイル共有」に表示されているアカウントの一覧から、現在 Mac にログインしているユーザのアカウントにチェックを付けます。(Mac にログインしているユーザは、Mac 起動時のログインウィンドウで、パスワードを入力してログインした際に表示されていたユーザです)

⑧パスワードの入力を求められるので、チェックを付けたユーザーアカウントのパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

⑨「完了」をクリックします。



⑩「共有フォルダ」リスト部分に STEP2 で作成した共有フォルダを Drag & Drop し、リストに追加します。追加した共有フォルダ名を本書 P.2 の表【共有名】欄に記入してください。



⑪「共有フォルダ」リストから 手順 ⑩で追加したフォルダを選択します。

⑫「ユーザ」リストで共有に使用するユーザーアカウントの権限が「読み／書き」となっていることを確認します。

⑬「ユーザ」リストから「すべての人」の権限を「アクセス不可」に変更します。

⑭「ユーザ」リストから「すべての人」と、共有に使用するユーザーアカウントを除いた、ユーザーアカウント、グループを選択し、「-」をクリックして削除します。

以上で共有フォルダを Mac にログイン中のユーザーアカウントのみが使用する場合は準備は完了です。

STEP 5 共有フォルダを使用するユーザーアカウントおよびグループを追加する



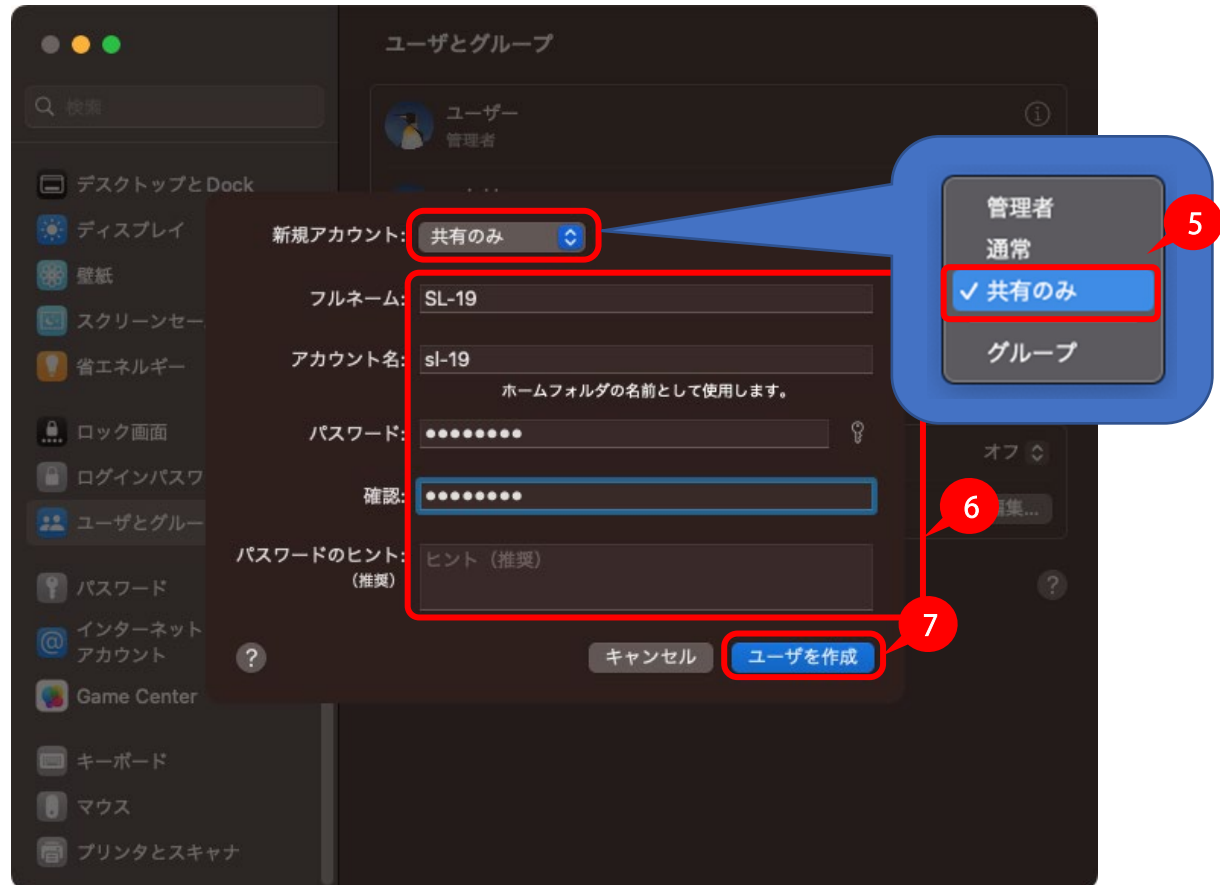
① アップルメニューから「システム設定」を選択します。



② 「ユーザとグループ」をクリックします。

※一覧に 「ユーザとグループ」 が表示されていない場合は、表示されるまで一覧をスクロールしてください。

③ 「アカウントを追加」をクリックします。



- ④ パスワードの入力を求められるので管理者権限を持つユーザーアカウントのパスワードを入力し「ロックを解除」をクリックします。
- ⑤ 新規アカウント項は、Mac にログインする必要が無いユーザーアカウントとして「共有のみ」を選択します。
- ⑥ 追加するユーザーアカウントの情報を入力します。
入力したアカウント名およびパスワードを本書 P.2 の表の【ユーザー名】、【パスワード】の欄に記入してください。
- ⑦ 「ユーザを作成」をクリックします。

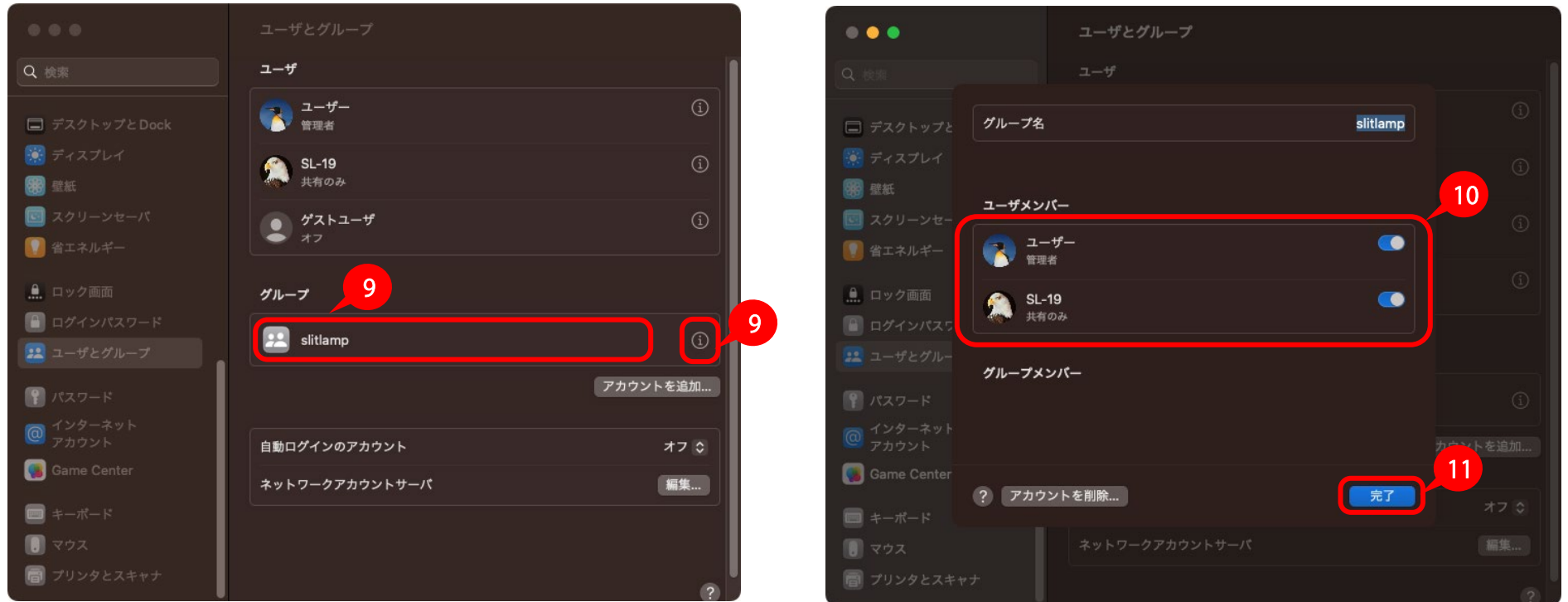



⑥「アカウントを追加」をクリックします。


⑦新規アカウント項を「グループ」に変更します。


⑧グループのフルネームを入力し、「グループを作成」をクリックします。

注意：グループ名にスペースを含めないようにしてください。スペースが含まれる場合は、後の手順(STEP7)でエラーが発生します。



⑨「グループ」リストに、STEP5-⑧で追加したグループ名が表示されていることを確認し、右端の情報ボタン  をクリックします。

⑩「ユーザメンバー」に表示されているリストのうち、共有フォルダを使用するユーザーアカウントを有効  にします。

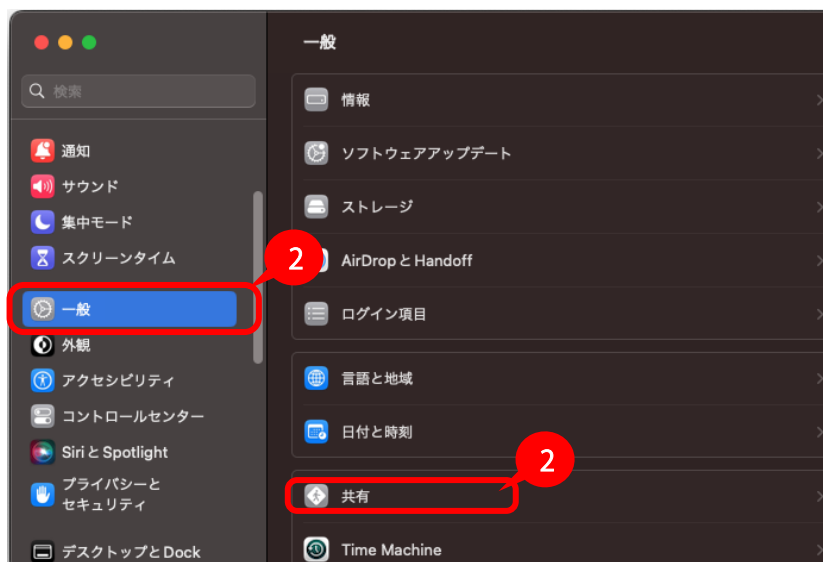
STEP5-⑤で追加した共有用のユーザーアカウントおよび Mac にログイン中のユーザーアカウント、その他に共有フォルダにアクセスするユーザーアカウントがあればそれらを全て有効  にします。

⑪「完了」をクリックします。

STEP 6 共有フォルダの設定をする





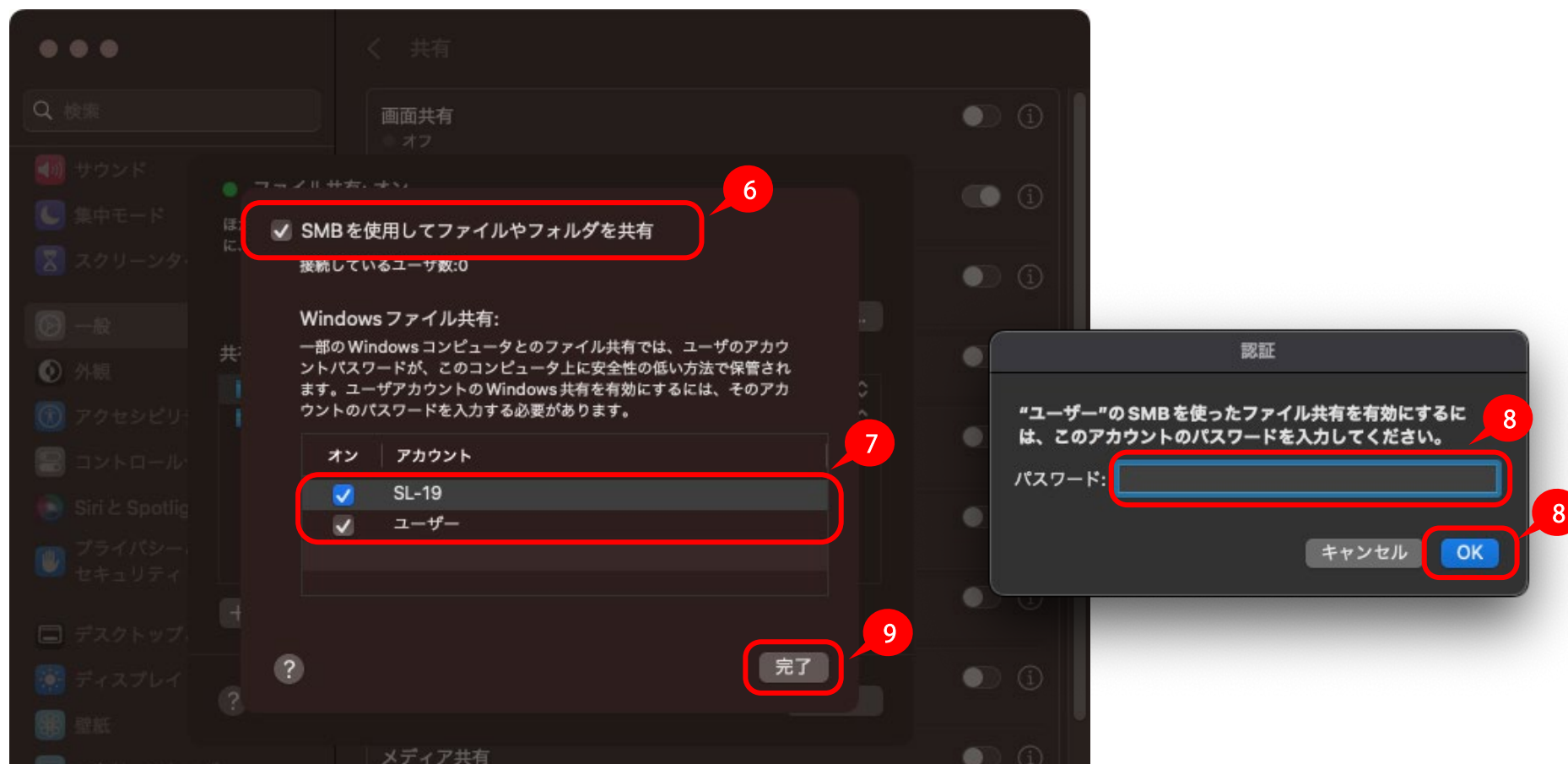
① アップルメニューから「システム設定」を選択します。



② 「一般」をクリックし、一覧から「共有」をクリックします。



- ③ 「ファイル共有」をオン  にします。右隣の情報ボタン  をクリックします。
- ④ ファイル共有：オン の下に表示されている “smb://〇〇〇〇〇〇”から“smb://”を除いた文字列を本書 P.2 の表【コンピューター名】欄に記入してください。
- ⑤ 「オプション」をクリックします。

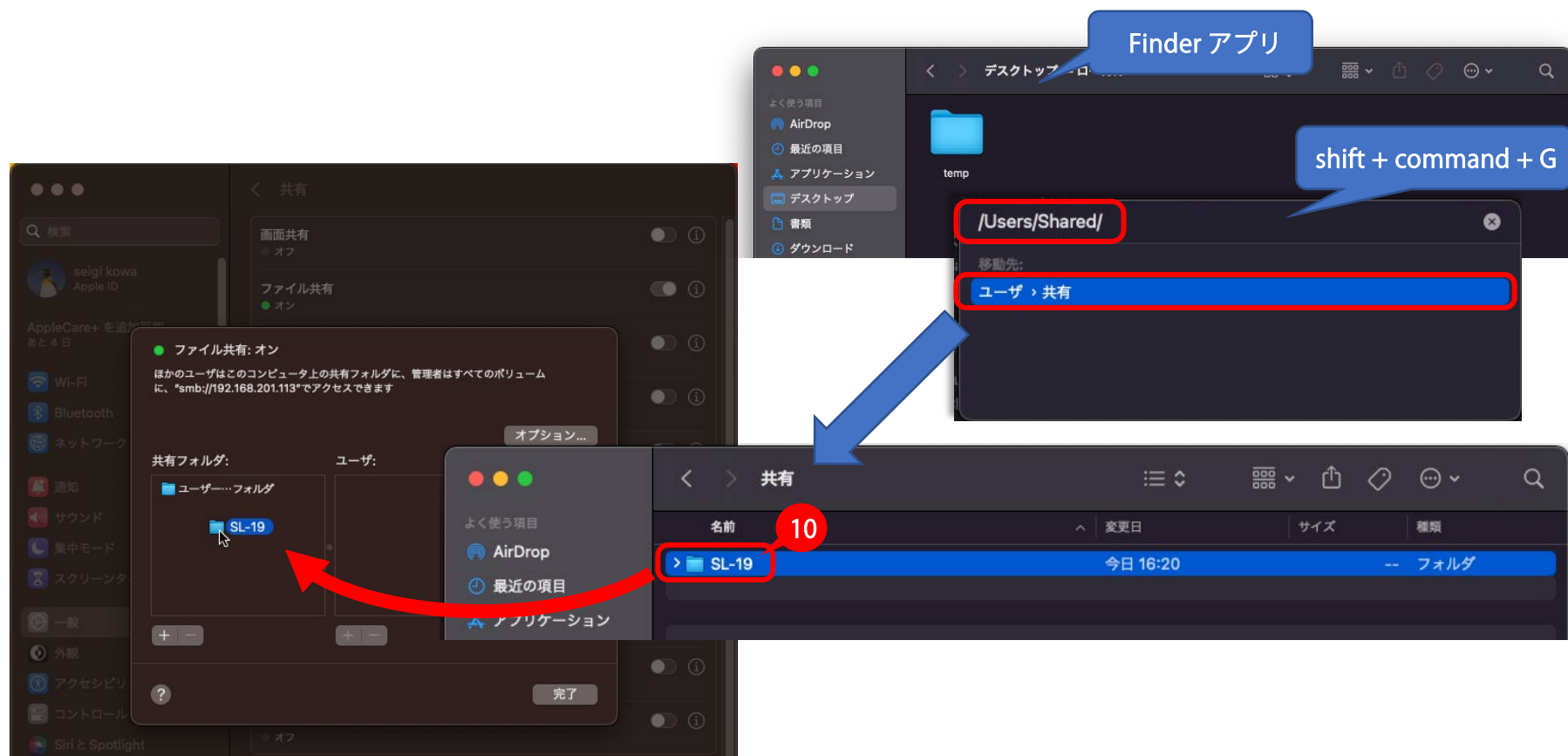


⑥ 「SMB を使用してファイルやフォルダを共有」にチェックを付けます。

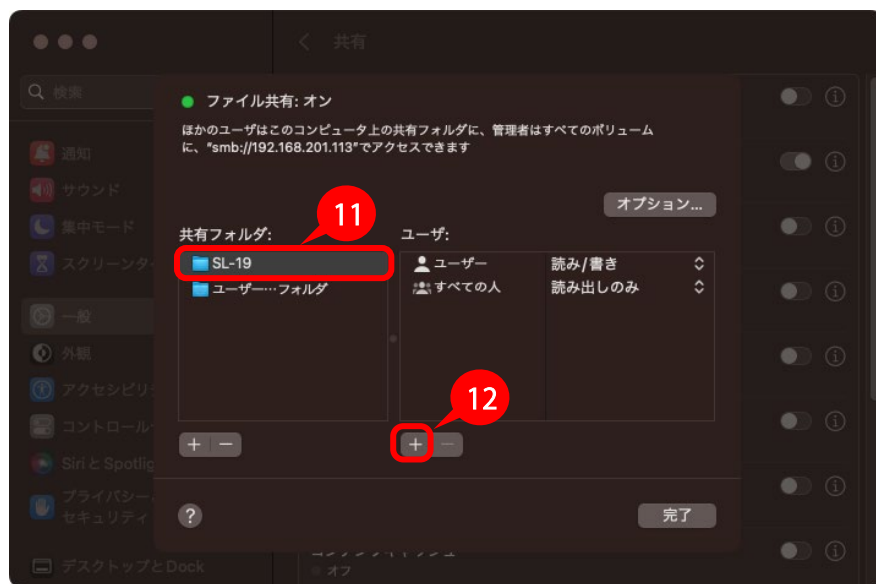
⑦ 「Windows ファイル共有」リストからファイル共有に使用するすべてのユーザーアカウントにチェックを付けます。

⑧ パスワードの入力を求められるので、チェックを付けたユーザーアカウントのパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

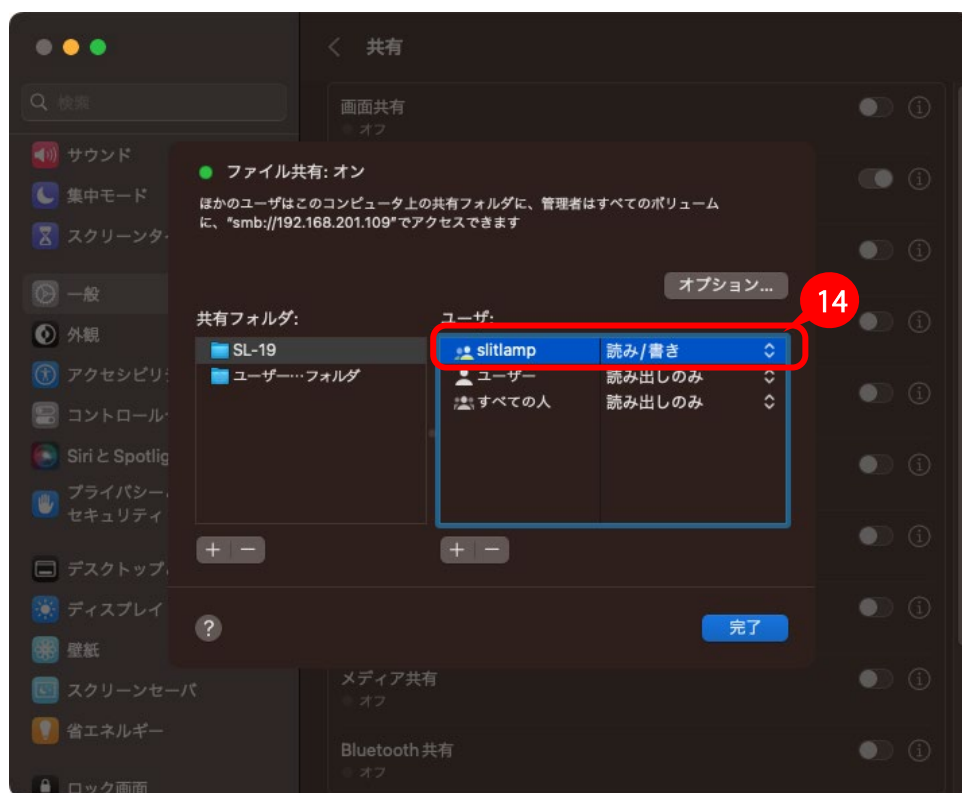
⑨ 「完了」をクリックします。



⑩「共有フォルダ」リスト部分に STEP2 で作成した共有フォルダを Drag&Drop し、リストに追加します。追加した共有フォルダ名を本書 P.2 の表【共有名】欄に記入してください。



- ⑪「共有フォルダ」リストから追加したフォルダを選択します。
- ⑫「ユーザ」リスト下の「+」をクリックします。
- ⑬ STEP5-⑧で作成したグループを選択し、「選択」をクリックします。



⑭「ユーザ」リストで追加したグループの権限を「読み／書き」に変更します。

⑮「ユーザ」リストから追加したグループ以外のユーザーアカウント、グループを選択し、「－」をクリックして削除します。
なお、「すべての人」は削除できないため、権限を「アクセス不可」に変更します。

STEP 7 共有フォルダ以下に作成されるファイルのアクセス権限を設定する

複数のユーザーアカウントが共有フォルダ内にファイルを作成した場合は、標準状態では各ファイルはそれぞれのファイルを作成したユーザーアカウントのみが開くことができる状態になります。

(別のユーザーアカウントが作成したファイルを開こうとすると、エラーになります)

上記状態を解消するために、共有フォルダ内に作成するファイルのアクセス権限を変更するコマンドを実行します。コマンドの実行手順については次ページで説明します。

コマンド

```
sudo □ chmod □ -R □ +a □ "group:YourGroupName □ allow □ list,add_file,search,add_subdirectory,delete_child,readattr,writeattr,readextattr,writeextattr,readsecurity,file_inherit,directory_inherit" □ "/Volumes/volumename/path/to/share"
```

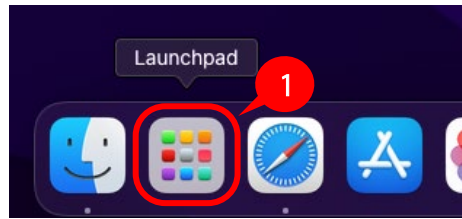
※コマンドは改行せずに続けて入力します。

※コマンド中の□は半角スペースを入力します。

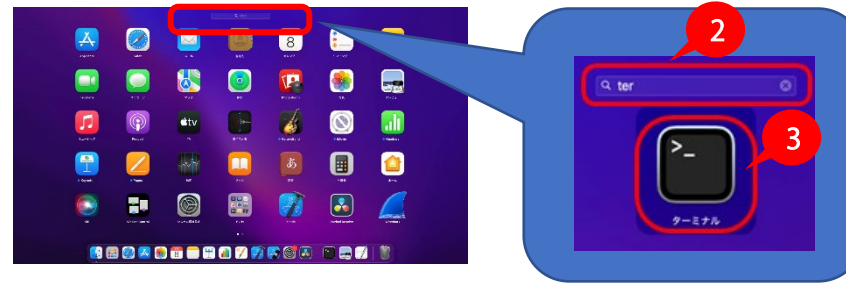
※コマンド中の「YourGroupName」はSTEP5-⑧で作成したグループ名を入力します。

※コマンド中の「/Volumes/volumename/path/to/share」は共有フォルダのフルパスを入力します。フルパスの確認方法については次ページで説明します。

※コマンドの手入力を避けるため、上記コマンドをUSBメモリなどにテキストファイルで用意しておき、Macではテキストファイルを開き、コピー＆ペーストをすることをおすすめします。その際は、共有フォルダのフルパスは後から入力する手順となるためフルパスを除いた形でテキストファイルを用意してください。

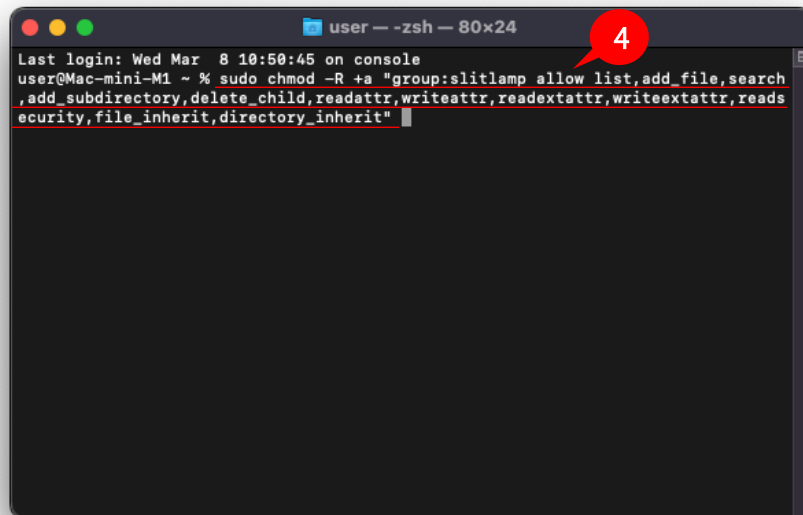


①Launchpad アプリを開きます。

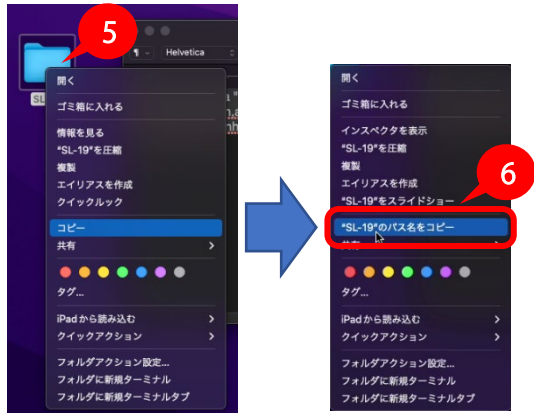


②「ターミナル」アプリを検索します。上部の検索ボックスに「terminal」と入力します。
(ter まで入力すると、「ターミナル」アプリが表示されます)

③ターミナルアプリを開きます。

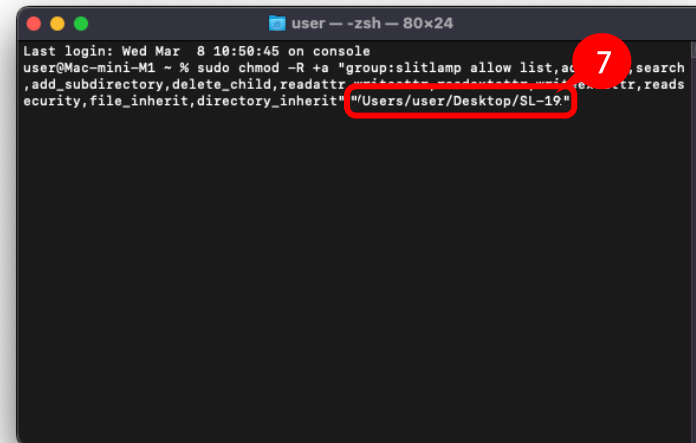
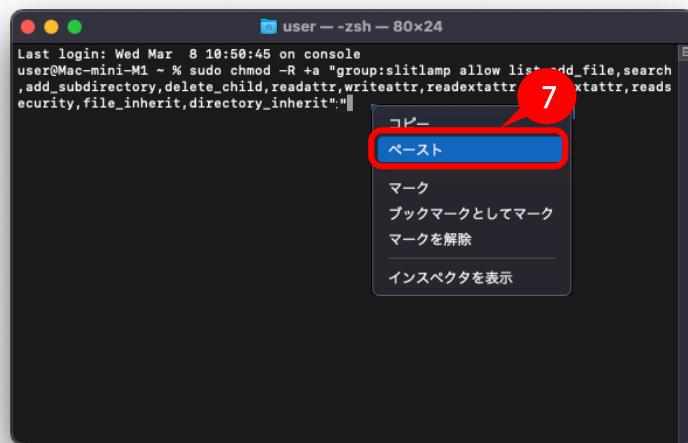


④ターミナルにフルパスを除いたコマンド文字列を入力します。
次の手順で共有フォルダのフルパスを入力するため、まだコマンドは実行しません。エンターキーは押さないでください。

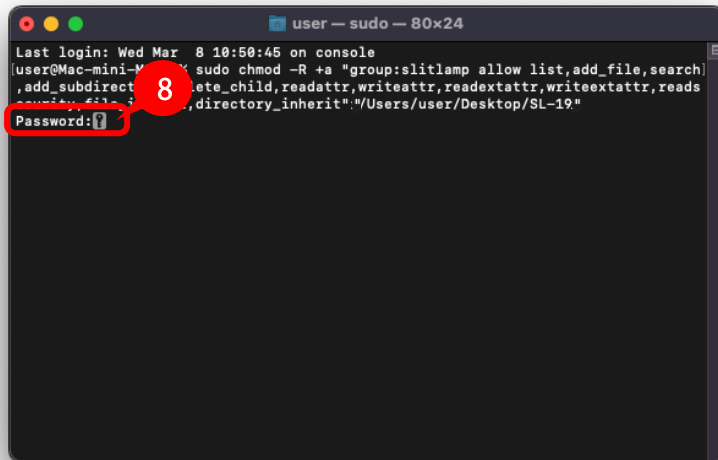


⑤共有フォルダを右クリックします。

⑥右クリック後のメニューが表示された状態で Option キーを押すとメニュー内の「コピー」が「フォルダ」のパス名をコピー」に変化するので、その状態で選択します。



⑦「ターミナル」アプリを選択し、カーソルがコマンド文字列の末尾にあることを確認し、右クリックします。ペーストを選択すると、共有フォルダのフルパスが入力されるので、エンターキーを押します。



```
user - sudo - 80x24
Last login: Wed Mar  8 10:50:45 on console
user@Mac-mini-M:~$ sudo chmod -R +a "group:slitlamp allow list,add_file,search
,add_subdirect
ete_child,readattr,writeattr,readextattr,writeextattr,reads
,directory_inherit"~/Users/user/Desktop/SL-19"
Password: [redacted]
```

⑧パスワードの入力を求められるので、管理者権限を持ったユーザーアカウントのパスワードを入力し、エンターキーを押します。
※パスワードの入力文字列は見えません。入力ミスした場合は、そのままエンターキーを押すと再度入力を求められるので、もう一度入力してください。

パスワードを入力し、エンターキーを押した後、エラーメッセージが表示された場合は、再度、手順④からやり直してください。その際は、コマンド文字列に入力ミスがないかよく確認してください。

パスワードの入力が求められず、「dquote>」と表示された場合は、入力したコマンド文字列から「"」(ダブルクォーテーション)が抜けていると思われます。「Control+C」キーを押すとコマンド入力がキャンセルとなるので、再度、手順④からやり直してください。

以上で共有フォルダを複数のユーザーアカウントが使用する場合は準備は完了です。



Technology for Life Science



販売元

興和株式会社

〒103-8433

東京都中央区日本橋本町 3-4-14

Mac および macOS は、Apple Inc.の商標です。

© 2023 Kowa Company, Ltd. All rights reserved.
SL-AP192 C5 V1.0J 230707 KW
Printed in Japan